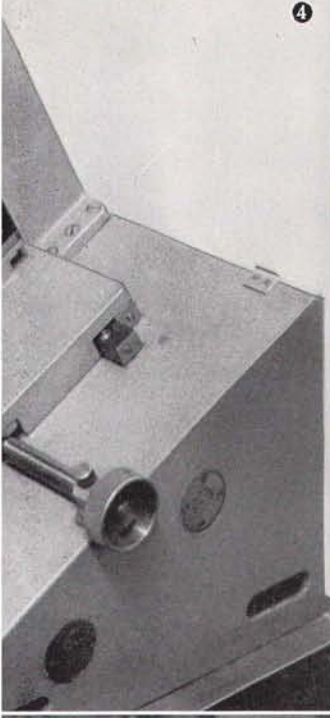


4



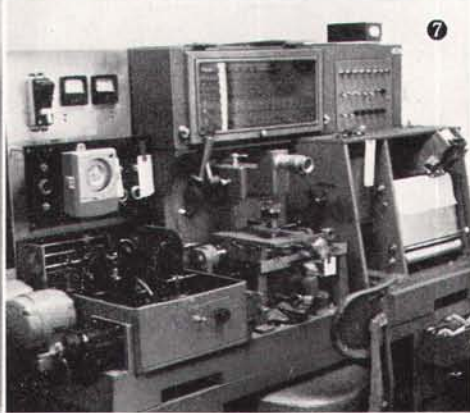
6



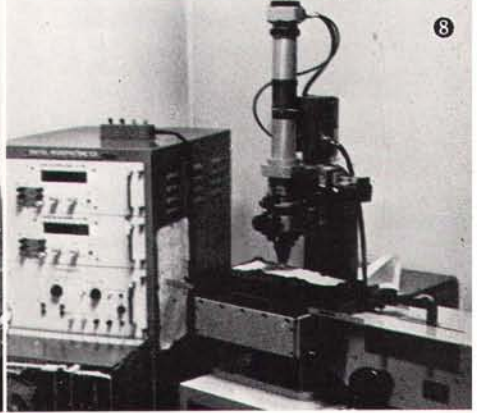
5



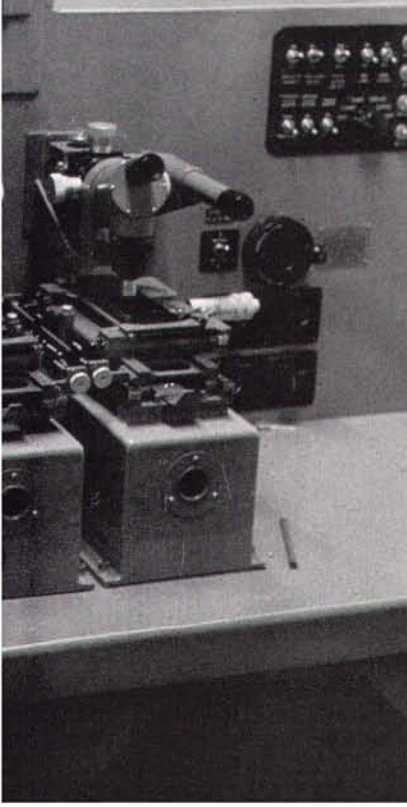
7



8



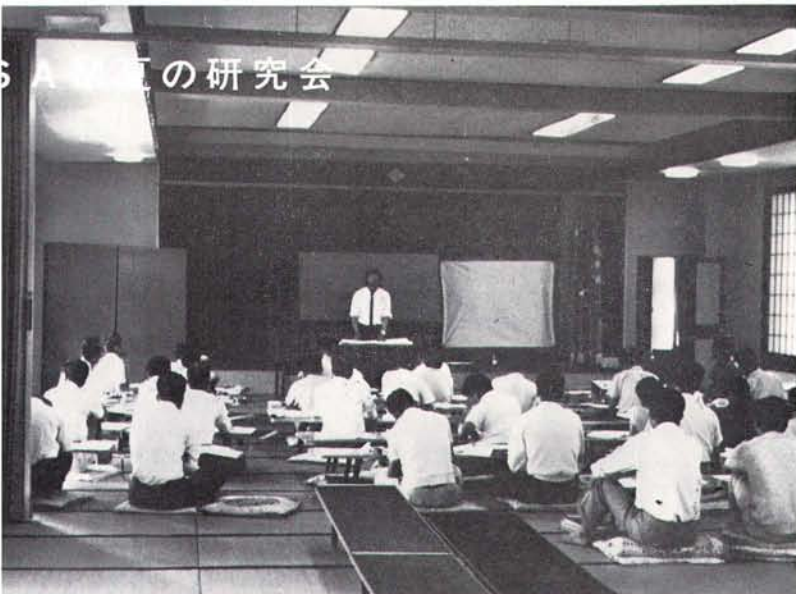
9



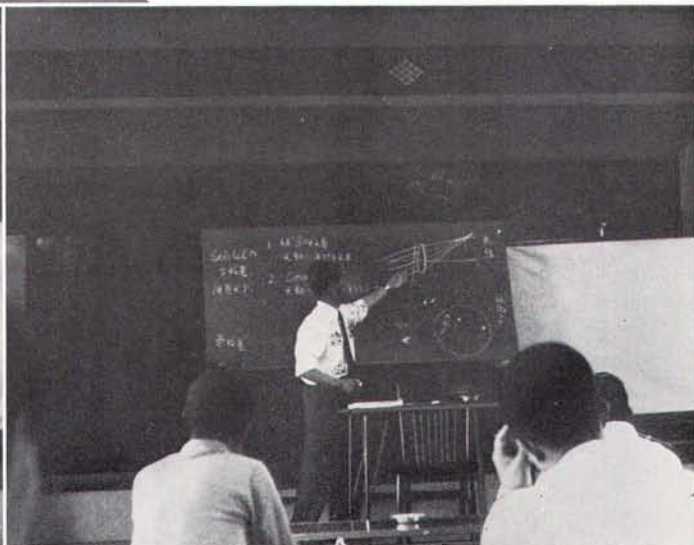
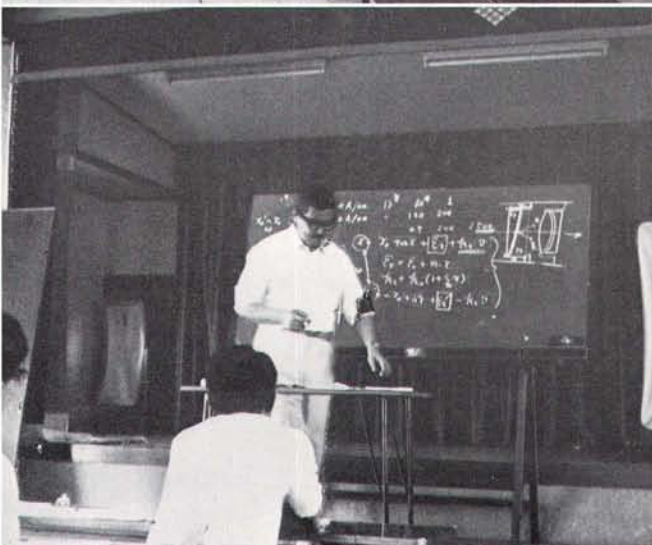
写真乾板測定機の
いろいろ

(写真説明は次ページ)

の研究会



今年のSAMの研究会は“大型シュミット望遠鏡による観測について”および“銀河系および諸銀河のメンバーとしての星団について”の2つのテーマを中心に、7月19日から22日までの4日間、長野県の海の口温泉で開かれた。会場はごらんのような旅館の大広間で、まさに寺子屋式であった。



(前ページ写真説明)

1. 座標測定器 (東独ツァイス製; 東京天文台) スケール比較式で; 30×30 cm の乾板が載る。小惑星・彗星の位置測定に用いられている。
2. 座標測定器 (米国マン製; 東京天文台) ネジ式読取で 25×25 cm の乾板が載り、デジタル記録部がついている。
3. プリンクコンパレータ (日本光学製; 東京天文台) 投影光を交互に点滅して2枚の 30×30 cm の写真板の星野の異変を検出する。変光星・新星の検出, 小惑星・彗星の検出に使われる。
4. スペクトル比較測定器 (日本光学製; 岡山天体物理観測所) スペクトル線の波長を高精度で測定するため2枚のスペクトル写真乾板を比較測定する。
5. 比較式マイクロホトメータ (日本光学製; 岡山天体物理観測所) 写真濃度を光の強度に換算して位置座標に対して曲線でペン書き記録する。
6. 写真濃度測定器 (日本光学製; 岡山天体物理観測所) 写真板にいくつかの直径の測定光をあてて透過光を測定する。同一の光源から出た光を他方でウェッジをとおして、ゼロ方式バランス型を採用。
7. イソホトメータ (ナルミ製; 東京天文台) 記録紙上に写真板の等濃度曲線を描く。ゼロ方式バランス型で、写真板をスキャンしながらあらかじめセットした濃度の点で打点する。
8. マイクロホトメータ (三鷹光機製; 東京天文台) 写真板の濃度をデジタル記録する。
9. ミクロデンシトメータ (ナルミ製; 東京天文台) 写真板の濃度を一次元の位置座標にたいして曲線でペン書き記録する。